

生物多様性に関する取組について

1 第1回生き物調査について

(1) 調査概要

①日時

平成30年5月11日(金) 午前8時～午後4時

②場所

コゲラの森 : 鈴木町1丁目

野火止樹林地 : 栄町3丁目

野火止用水 : 栄町3丁目

③調査方法

ア 動物調査

- ・動物相調査：哺乳類、鳥類、両生類、爬虫類、昆虫類などについて、調査地内をくまなく調査し、出現種を記録する。
- ・ビーティング：動物相調査の補足として、捕虫網を使用し、草や梢を網ですくい、昆虫等を捕獲して記録する。

イ 植物調査

- ・植物相調査：調査地内をくまなく踏査し、出現種を記録する。

ウ 水生生物調査

- ・定性的調査：水網で生物のいそうな箇所を掬いとり、捕獲した生物種を記録する。

(2) 調査結果(速報)

場所	確認情報	特徴のある生き物
コゲラの森	約212種 鳥類 5種 昆虫 約40種 植物 約167種	・ヒゲブトハナムグリ(東京都北多摩 準絶滅危惧種)
野火止樹林地	約285種 鳥類 14種 爬虫類 1種 昆虫 約70種 植物 約200種	・アオゲラ(東京都北多摩 準絶滅危惧種) ・ニホンカナヘビ(東京都北多摩 絶滅危惧Ⅱ類) ・ヒゲブトハナムグリ(東京都北多摩 準絶滅危惧種) ・キンラン(東京都北多摩 絶滅危惧Ⅱ類)
野火止用水	水生生物 7種 ヤゴ 1種 カメ 1種 魚 3種 甲殻類 2種	・ハグロトンボのヤゴ ・アカミミガメ(緊急対策外来種) ・マダラロリカリア(熱帯魚、別名:プレコ) ・アメリカザリガニ(緊急対策外来種)

2 調査実施後、見えてきた点

野火止樹林地でアオゲラが確認されたのは、用水と樹林地という両方の要素が相まって、飛来に繋がっているとのこと。樹林地や用水路からなる小平グリーンロードは生物多様性にとって、極めて貴重な当市の資源ということが確認できた。

マダラロリカリア（熱帯魚、別名:プレコ）が確認されたのは極めて問題である。野火止用水が再生水であり水温が高いことが繁殖に繋がっている。そのほか、アカミミガメ、ヌマエビ、アメリカザリガニなどの外来種が確認されている。外来種対策にも力を入れていく必要がある。

なお、今回の調査では哺乳類は確認されていない。

3 今後の取組について

今年度のいきいき協働事業「小平らしい生き物の調査事業」では、今回調査を実施した3か所の中から、野火止樹林地及び野火止用水を選び、7月に市民に参加してもらう自然観察会を開催し、8月にはこれらの成果を踏まえて講演会を開催する。10～11月には、第1回生き物調査で実施した場所と同じ場所を調査し、春と秋との生物相の違いについて確認する。その後、これらの成果をまとめたリーフレットを作成し、配布して普及啓発する。

この取組のほか、既存の事業（森のカルテづくり、身近なビオトープづくり等）による動植物のデータや、市民からの情報、市民団体が把握している情報などを収集し、小平市の生物相の特徴を明らかにし、生物多様性の取組を推進していく。

<小平市全図（調査箇所）>



<特徴のある生き物 写真> ※⑤～⑧は調査時に撮影した写真



①キンラン



②ヒゲブトハナムグリ



③アオゲラ

出典：東京都環境局 レッドデータブック東京 2013



④ニホンカナヘビ



⑤ハグロトンボのヤゴ



⑥アメリカザリガニ



⑦アカミミガメ



⑧マダラロリカリア (別名:プレコ)

